

社 報



考え方が変われば……

中国研修生が来日

中国から研修生2期生がやってきました。母国から家族と離れて3年間、彼らの人生を左右するチャレンジです。よろしくお祈りします。



許さん 32才
既婚
子供1人



周さん 21才
既婚
子供1人



徐さん 24才
既婚
子供1人



清水建設の取引業者の会に、兼喜会という集まりがあります。この会は、一般的には名義人会と言われ、この会に参加できる業者は、清水建設の下請会社として、他の会社とは存在感の違う会社ということになります。兼喜会の会員は清水建設とより緊密な関係をもって、工事能力の増減、品質確保・安全確保など、下請会社の中でもリーダー的な存在とならなければなりません。

当社も兼喜会の会員であり、大工と言う職種においては、筆頭名義人であると自負しています。(他の大工さんはそう思っていないかもしれませんが……)

当社の現監査役の森本博は、当社の社長時代には、兼喜会の会長を務めさせていただきました。

その名義人会・兼喜会の近畿地区の総会が先月、太閤園(当社も大変お世話になっております。)にて開催されました。

その時に、ご来賓として清水建設大阪支店 瓜生副支店長がご講演されましたので、今月はその一部を紹介いたします。

「考え方が変われば、行動が変わる。」

「行動が変われば、習慣が変わる。」

「習慣が変われば、性格が変わる。」

「性格が変われば、人生が変わる。」

瓜生副支店長は良くこの一節を説かれます。

この言葉が何を示しているかと言えば、「人間は良い方向に変化していかなければ、人生を楽しく過ごせませんよ。」という事なのでしょう。

その為にはまず考え方である。

ビジネスの訓話として、有名な話として、「南国孤島へ靴のセールス」の話があります。

あるセールスマンは南国の孤島に靴を売りに行くと、この島の住人は全員が裸足だ、こんなところでは靴は売れないと考えました。

しかし、あるセールスマンはこの島の住人は全員が裸足だ、ここで靴の良さを知ってもらえれば、全員に買ってもらえると考えました。

ビジネスでどちらが成功するかは、聞くまでもありません。できない理由を掲げるより、できるかも知れない事をチャレンジする人生の方が、やりがいがある楽しい人生なのです。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

マナーでも「整理・整頓」

清水建設の瓜生副支店長の講演の話でしたが、また副支店長が良く言われるのがシンプルです。「モノゴトはシンプルに考えなければ答えなど見つからない。」と言われます。考え方も、整理・整頓が大事で、これをおろそかにすると、あれも考慮に入れなければ、これも大事……、などと、要らないことを捨てることがで

きずに考えると、結論を出すことができなくなるわけです。

知識や考えも、「整理・整頓」です。会社でも、個人でも、方針がきちんと整理整頓できている場合は、ブレが少なく、ほかからの信頼も得られます。

現場でも整理・整頓が行き届いていれば気持ちよく、人の考えも整理・整頓ある人は気持ち良いものです。

2009年 安全成績

現場災害 H21.1.1-H21.3.12	
休業災害	----- 0
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 0
交通災害 H21.1.1-H21.3.12	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0